

病棟実習 4 日間のスケジュール * 毎日実習記録用紙 NO.2 は記載します。

* 必ずループリック評価表の評価尺度を確認しながら学習を進める。

	内容
1 日目	1) 子どもの生活の場としての入院環境についてどのように整える必要があるか →事前 DVD、要項を踏まえて考える * 昨日 5 月 9 日実施済み
2 日目	1) 小児の各発達段階におけるコミュニケーションの特徴について 2) 小児科病棟保育士の役割 キーワード：遊びを通した支援、環境設定、保護者・きょうだい支援、スタッフとの連携など踏まえて考える 3) 活動制限のある小児の看護について →要項を踏まえて考える
3 日目	1) 検査・処置を受ける子どもへの心理的準備の必要性について →要項を踏まえて考える 2) ループリック評価表記載の小児特有の処置、看護技術について (1) ユーチューブを視聴し追加学習を行う * 小児看護技術評価表に則った学習の追加 (2) 計算問題を解き解答まで導く
4 日目	1) 確認テスト→振り返り学習まで 2) マインドマップへの追加

病棟実習における参考ユーチューブの一覧（観れない内容もあるかも知れません）

<https://youtu.be/k9SY7zED5-M>（新生児のケア 胸部の聴診）

https://youtu.be/lworWl6_gFo（新生児の全身観察）

<https://youtu.be/ie3YNhYfi-I>（小児の点滴の固定）

<https://youtu.be/8No1nkbPUxA>（腰椎穿刺）

<https://youtu.be/ROT4EdQxclE>（骨髄穿刺）

<https://youtu.be/jtisas9NHbw>（新生児の身体計測）

<https://youtu.be/7mKx7bojVoA>（救急看護）

<https://youtu.be/aBsVDQyfrJk>（重症心身障害児）

<https://youtu.be/NqRZa7UbRrg>（医療的ケア児の地域支援体制構築について：厚生労働省）

<https://youtu.be/oFULlqyEwCA>（寝たきりの子どもと家族）

<https://youtu.be/fGoCuMly1Ok>（活動制限、検査を受ける子ども）

<https://youtu.be/OPk5xxDecew>（入院中の生活の場、子どもの権利について）

<https://youtu.be/MPDLT3jwx3s>（難病や重症心身障害児の家族支援）

* 2 号用紙、確認テスト、計算問題についてはホームページに UP します。

プリントアウトして学習に繋げて下さい。

計算問題

1：点滴静脈内注射 750 ml/5時間の指示があった。20 滴で約 1 mlの輸液セットを使用した場合、1 分間の滴下数はどれか。

2：体重 9.6kg の患児に、小児用輸液セットを用いて体重 1 kg 当たり 1 日 100mL の輸液を行う。このときの 1 分間の滴下数を求めよ。ただし、小数点以下の数値が得られた場合には、小数点以下第 1 位を四捨五入すること。

3：出生体重 3,200 g の新生児。日齢 3 の体重は 3,100 g である。このときの体重減少率を求めよ。ただし、小数点以下の数値が得られた場合には、小数点以下第 2 位を四捨五入すること。

4：「10%塩酸リドカイン液 10 mlをブドウ糖液と混合し 500 mlにして 2mg/分で点滴静脈内注射」が処方された。1 分間における注入速度を求めなさい。

(G) (氏名:)

問題1. 小児に疑われる感染症と外来での初期対応の組合せで正しいのはどれか。

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 乳児下痢症 — N95 マスク | 2. 麻疹 — 別室で隔離 |
| 3. 百日咳 — 酸素吸入 | 4. 水痘 — プレイルーム待機 |

問題2. 子どもの発達に応じて正しい知識を与え、情緒表現の機会を与える働きかけを意味するのはどれか。

- | | | |
|-----------------|----------|-------------|
| 1. インフォームド・アセント | 2. アニミズム | 3. プレパレーション |
| 4. マザリング | 5. モデリング | |

問題3. 乳児とのアタッチメントの形成に必要なのはどれか。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 必ず母乳を飲ませる。 | 2. 昼間一人遊びさせる。 |
| 3. 乳児が声を出したら反応する。 | 4. 子ども部屋で就寝させる。 |

問題4. 小児の入院に母親が付き添う場合の看護師の行う援助で最も適切なのはどれか。

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. なるべく患児と二人きりで過ごさせる。 | 2. 母親の一時帰宅は禁止しない。 |
| 3. 兄弟姉妹の面会は自由にする。 | 4. 家庭の事情を考慮し退院を早める。 |

問題5. 肺炎で入院している2歳児が、母親の姿が見えないと大泣きしている。アセスメントで正しいのはどれか。

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. アタッチメントが未形成である。 | 2. 人見知りが強くなっている。 |
| 3. 母親を安全基地にしている。 | 4. 母親が離れることに慣れる必要がある。 |

問題6. Aくん(10歳、男児)は学校で体育の水泳の授業中に溺水した。気づいた教員が引き上げたが、呼吸停止が確認された。学校保健室の看護師が行う救急処置で適切なのはどれか。

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. ただちに水を吐かせる。 | 2. ショック体位にする。 |
| 3. 人工呼吸を行う。 | 4. 救急車が到着するまで見守る。 |

問題7. Aちゃん(5歳、男児)は高熱と頭痛と嘔吐を主訴に来院し、髄膜炎の疑いで腰椎穿刺を行うことになった。検査の介助を行う際の対応で適切なのはどれか。2つ選べ。

- | | |
|---------------------|---------------------------|
| 1. Aちゃんに腹臥位になってもらう。 | 2. 「動くと1回で終わらないよ」と声をかける。 |
| 3. 穿刺時の抑制を家族に任せる。 | 4. 穿刺する前に「チクツとするよ」と声をかける。 |
| 5. 終わったら頑張ったことをほめる。 | |

問題8. 緊急入院が決まった子どもの母親への指導で適切なのはどれか。

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 子どもには入院の説明はしない。 | 2. 面会時間は厳重に守る。 |
| 3. 入院中の子どもに厳しい態度で接する。 | 4. 帰宅するときは子どもに説明する。 |

問題9. 小児に痙攣が見られるときの対応で適切なのはどれか。

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1. 安全な場所に移動させる。 | 2. 仰臥位にする。 |
| 3. 手足を押さえる。 | 4. 舌を噛まないようタオルを噛ませる。 |

問題 10. A ちゃん（3 歳、女児）は付き添いなしで入院することになった。親が帰ったあと、号泣し続けている。

A ちゃんの心理状態のアセスメントで適切なのはどれか。

1. 人見知りをしている。
2. 自分を病気にした原因に対して怒りを表している。
3. 病気による苦痛や親と離れることを罰として受け止めている。
4. 治療によって容貌が変わることをおそれている。

問題 11. 乳児の意識レベル評価で、JCS のⅡ-10 と判定されるのはどれか。

1. 普通の呼びかけで容易に開眼する。
2. 母親と視線が合わない。
3. 飲み物を見せると飲もうとする。
4. あやしても笑わないが視線は合う。

問題 12. A くん（11 歳、男児）は身長 146cm、体重 52kg である。中学受験のために、毎日小学校から帰宅するとまっすぐに塾に行き、休憩時間に売店で菓子パンやおにぎりを買って食べる。塾が終わって母親が迎えに来るのが 22 時頃で、それまでコンビニで軽食を買って食べて待っている。休みの日は 1 日中、深夜までテレビゲームをして過ごす。A くん健康を考えたときに看護師が行う必要がある指導で優先度が高いのはどれか。2 つ選べ。

1. テレビゲームの禁止
2. 両親とのかかわり
3. 食事内容
4. 学習時間
5. 睡眠時間

問題 13. 小児が誤飲したときに水や牛乳を飲ませてはいけないのはどれか。2 つ選べ。

1. 除湿剤
2. 石けん
3. 石油製品
4. ハンドクリーム
5. たばこやその吸い殻

問題 14. 溺水し、意識がない小児を安全な場所まで救助したあとに行うことで適切なのはどれか。2 つ選べ。

1. 保温をする。
2. ハイムリック法を行う。
3. 溺水者に AED は使用できない。
4. 脈拍がある場合、人工呼吸を行う。
5. 水を吐いた場合は顔を横に向けることは避ける。

問題 15. 乳幼児用のジャパン・コーマ・スケールでⅠ-3 に該当するのはどれか。

1. 母親と視線が合わない。
2. 飲み物を見せると飲もうとする。
3. 呼びかけると開眼して目を向ける。
4. あやしても笑わないが視線は合う。

問題 16. A くん、男児、10 歳。1 ヶ月前から感冒にかかったと思っていたが、症状が改善せず近所の医院を受診し、血液検査の結果血液疾患の可能性があると総合病院に紹介された。白血球数 $45,000/\mu\text{L}$ 、Hb 6.8 g/dL 、血小板 $5\text{ 万}/\mu\text{L}$ 。昨日入院し、本日、骨髄穿刺を行うことになった。当日の看護で適切なのはどれか。2 つ選べ。

1. 手術室で行うと説明する。
2. 止血機能に問題がある恐れはない。
3. 検査前に排尿するように促す。
4. 「麻酔をするので痛みはないです」と説明した。
5. 「骨の奥の、血液をつくるところを刺して詳しく調べます」と説明した。

問題 17. 8 ヶ月の男児。これまで異常はなく、成長発達も標準範囲内であった。最近、瞬間的に頭部を前屈させ、両手を挙げ、下肢を屈曲させる動きを繰り返すようになり、気づいた両親が受診させ入院となった。瞬間的に頭部を前屈させ、両手を挙げ、下肢を屈曲させる動きがみられた場合の対応で正しいのはどれか。

1. 全身の保温のため電気毛布を準備する。
2. 動きの最中に脳波を測定する。
3. 手足を押さえ、外傷を予防する。
4. 発作の長さや随伴症状を観察する。

問題 18. 乳児の与薬について適切なのはどれか。

1. 薬用量の計算に必要な指標は身長である。
2. 錠剤はつぶして飲ませる。
3. 散剤はオブラートに包んで飲ませる。
4. 水薬はミルクと混ぜて哺乳瓶から飲ませる。
5. 離乳食、あるいは授乳の前に飲ませる。

問題 19. 熱性けいれんについて正しいのはどれか。

1. 38℃以上の発熱が解熱した後に出現する。
2. 発作は片側性で反復する。
3. 脳波に異常がみられる
4. 学童期以降も継続する。
5. 家族集積性がある。

問 20. A ちゃん(3 歳 0 か月)は、午後から 38.0℃の発熱があったが、食事は摂取でき活気があった。夜間になり、3 回嘔吐したため救急外来を受診した。来院時、A ちゃんは傾眠傾向にあった。診察の結果、髄膜炎が疑われ、点滴静脈内注射を開始し入院した。入院時、A ちゃんは、体温 38.5℃、呼吸数 30/分、心拍数 120/分、血圧 102/60mmHg であった。入院時の A ちゃんへの対応で最も優先度が高いのはどれか。

1. 冷罨法を行う。
2. 水平仰臥位を保つ。
3. 意識レベルを観察する。
4. 大泉門の状態を観察する。

問題 21. 溺水して意識のない小児への救急処置で適切でないのはどれか。

1. 呼吸の有無を確認する。
2. 必要に応じて心臓マッサージを開始する。
3. 水を吐かせる。
4. 保温をする。

問題 22. A ちゃん、4 歳。妹の B が気管支炎のため母親が付き添って 1 週間入院している。自宅には母方の祖母が来て、A の面倒を見ている。母親から「昨日保育所から、A が友達を叩いて困ると連絡を受けました。B はずいぶん元気になってきて安心していただけなのに」と担当看護師が相談を受けた。母親への助言で最も適切なのはどれか。

1. 母親の一時帰宅を勧める。
2. A に保育所をしばらく休ませる。
3. 祖母に A の面倒をもっとよく見てもらうように勧める。
4. A の通う保育所の保育士に B の病状を話すように勧める。

問題 23. 1 歳児。4~5 時間前に 10 円硬貨を誤飲した疑いで来院した。胸部エックス線撮影で食道に停滞しているのが確認された。適切な処置はどれか。

1. 下剤を与薬する。
2. 催吐薬を与薬する。
3. 内視鏡で除去する。
4. 自然排泄を待つ。

問題 24. 小児の外来看護で最も優先されるのはどれか。

1. 感染症症状の確認
2. 育児相談
3. 病棟との連携
4. 社会資源の紹介

問題 25. 長期の隔離入院が子どもに及ぼす影響とその対策との組合せで誤っているのはどれか。

1. 孤独感————ビデオレターの活用
2. 感覚刺激の不足————テレビゲームの持込許可
3. 学校教育の中断————養護学校への転籍
4. 医療従事者への恐怖心——医療従事者のマスク非着用

問題 26. A ちゃん(6 歳, 男児)は, 4 人部屋に入院し, 初めての入院で緊張している。 A ちゃんへの対応で適切なのはどれか。2 つ選べ。

1. 入院についてどのように理解しているか確認する。
2. 入院中は家族より医療者と過ごす時間を多くする。
3. 苦痛を伴う処置を実施するときの説明は直前にする。
4. 家庭で使用していたおもちゃで遊べるようにする。
5. カーテンを閉めて一人になれるようにする。

問題 27. 乳児に水薬を与薬する方法で適切なのはどれか。

1. 哺乳瓶の乳首に入れて吸啜させる。
2. コップに入れて飲ませる。
3. 人工乳に混ぜて飲ませる。
4. 胃管を挿入して注入する。

問題 28. 乳児への散剤の与薬について, 親に指導する内容で適切なのはどれか。

1. ミルクに混ぜる。
2. はちみつに混ぜる。
3. 少量の水に溶かす。
4. そのまま口に含ませる。